



編集責任者 岩井 寛

郵政産業
ユニオン

浦安

2014年12月26日

発行 郵政産業労働者ユニオン浦安支部

HP <http://piwu-urayasu.jp>

Mail otegami@piwu-urayasu.jp

これでは事故も起こる!

組立バイト来たる/通路巾75センチ、落ちる班長ボードもそのまま

集配事務室は年賀のレイアウトへ模様替え。今日(26日)から大勢の短期組立アルバイトが職場で作業をします。

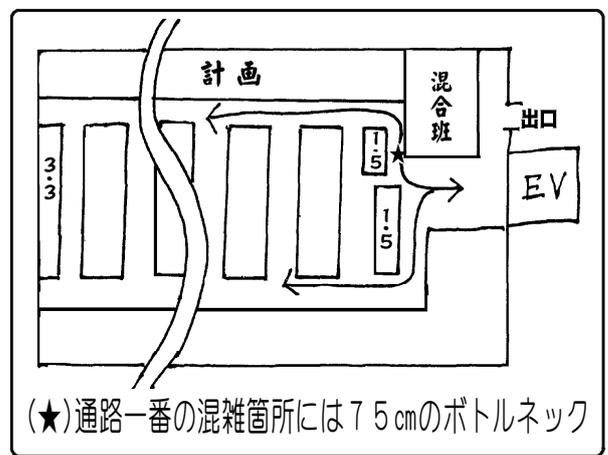
一方で社員も買上・廃休による連日の全員出勤体制となっており、来年4日まで局舎はこった返す「人・人」の人ばかりです。

作業スペースに加えて通路も狭い

今年の年賀レイアウトは、3月の区分棚を横向きとするレイアウトに変更されてから初めて配置されることになり、昨年までと大きく異なります。

行徳集約後、狭い作業スペースだけがをす人も出ていますが、今回は作業スペースの狭さに加えてメインの通路の狭く、その構造上にも大きな欠陥があります。

「班あたり20人位組立が来るのに、将棋倒しが起こってもおかしく無い」との声も聞かれます。



(★)通路一番の混雑箇所には75cmのボトルネック

一番の混雑箇所にボトルネック

例年、短期組立アルバイトの短い休憩時間ともなれば、少しでも広い所で休もうと、我先と一斉に自販機スペースなどへと向かいます。

これに対流する夜勤者の集団も加わります。時折、狭い通路は大勢の群衆や人や台車で滞ります。

今回から横並びの区分棚配置により、作業スペースを抜けて直接出口方面へ行くことは出来なくなり、殆どの区が二本の通路を經由することになります。

縦長の集配事務室では上図のように三集三班から一集五班へ向かい124区が次第に二本の通路に集約されていきます。

計画側の通路の広さは途中まで最低150cmが確保されています。

ところが14列全ての動線が合流して最も交通量が多くなる先で、台車を通すのも気をつかうような通路巾75cm(セルワゴン巾が62cm)のボトルネックとなる通路に変わります。

はずみで鉄板も倒れる

これでも75cmまで通路を拡げたために隣接する一集四班・五班のスペースが幅470cmまで狭くされてしまい、ウマと大きなセルワゴンで既に危険な狭さです。

その上、ボトルネック箇所にある猫突二丁目の区分棚でも鉄板を吊る金具は両方壊れたまま。

もし後ろ側にある通路で区分棚に強く接触すれば、はずみで頭上に落下する状態です。

何重もの危険に晒される中、安心して作業も出来ません。

年繁回答・窓口折衝は掲示板に

今年度の「年末始繁忙要求書」の回答・窓口折衝は、年繁期間中は引き続き二階の支部掲示板に貼りだしています。

二年連続で出発式取りやめ！

実は昨年度の年繁折衝を12月1日号のニュースの見出しで、「元旦出発式の廃止などで前進」と書いたが、「廃止では無く、今行わないだけだ」と指摘を受けてしまいました。

全国的にはとくに元旦出発式など廃止している局が多く、浦安の現状は驚かれています。

長時間労働と連続勤務の中で七時出勤の指定が振られる上、毎年時間に追われる配達です。月曜朝にやる必要の無い朝礼と同じで「こんな忙しい時に式典なんてやってないで、早く出させる」が圧倒的な声です。

今年も年繁要求回答において「朝礼のみで出発式は行わない」旨の回答がありました。このまま廃止すべきです。

式典中にも「落ちた」！

その「元旦出発式」といえばかつて公社の頃、来賓挨拶で市長が登壇したちょうどその時。取り付けの甘かった、後ろの看板が音を立てて崩れるという事件がありました。

この時は恥を晒しただけで済みました。が、「落ちる」危険なものやオーバースライダー、パレットなど重大な労災事故に繋がっており、「落ちる」が多い職場は大変な問題なのです。

班長ボードまた落下

今年三月のレイアウト変更で、現在の様に「班長ボード」を取り付けるようになり、直後からセロハンテープから紐が抜けて落下する事故が各班横並びで起きています。

落ち方は色々あり、時には「ギロチン」のように落ちてセルワゴンに当たって音を立てます。もし作業していたら手の上。あの高さでラミネート加工された板が落ちるのだから、怪我をしてもおかしくありません。

浦安分会『2014年度年末始繁忙要求書』
(提出10月23日、回答・窓口折衝12月9日)

【要求22】 天井から吊った「班と班長を記した」ボードが時おり組立作業スペースに落下することから、区分棚脇に貼るなど安全な方法で掲示する対策を取ること。
【回答】 すでに対策済みである。
【窓口要旨】 (会社)落ちないようにしてある。

【要求23】 多くの区分棚で上の鉄板を吊るチェーンが片方、あるいは両方切れているままで、ふとしたはずみで落下する状態です。チェーンを取り付けること。
【回答】 安全管理者、衛生管理者が局内を巡回し、確認をし、危険な箇所は修理済みである。
【窓口要旨】 (会社)修理させてある。修理の場所を具体的に言ってくれ。

今も鉄板を支える部品が壊れている区分棚
(12月14日時点)

	片方壊れている	両方壊れている
1集1班	5台	1台(1台)
1集2班	3台	1台
1集3班	3台	2台
1集4班	4台	
1集5班	1台	3台(1台)
1集団地	2台	
2集1班	1台(1台)	1台(1台)
2集2班	1台(1台)	
2集3班	2台	
3集1班	1台	
3集2班	1台	
	23台(2台)	8台(3台)

※()内は、把捉紐や針金で倒れないように「応急処置」をしてあるものの再掲。

区分棚も危険

「区分棚」についても、「危険な箇所は修理済み」との上記回答ですが、上図でまとめたように、どこをどうみても壊れたまま放置されています。こうした対応は許されるものではありません。

組立パートさん達が職場で訴えて一度は撤去しました。しかし何の断りも無く元の方法で取り付け直し、落下と取付を繰り返しています。パートさん達は「危ないから下で作業しない」ことを決めて自己防衛に努めています。しかし、繁忙期で人も多くなれば落下事故は免れない。今回の年繁要求に対して、局は「落ちないようにしてある」と説明。しかし取付方法を変えた形跡は全くなく、窓口の翌日の10日昼頃にも一集四班で落下しています。(現在は同じ方法でまた取付ている。)

引き続き会社に撤去を求めていく。